



## 支えていただいている心強さから…3つの感謝

2月22日、今年度最後の授業参観と児童後援会総会、赤保内小学校父母と教師の会総会、そして専門委員会の組織会が行われました。前日、校庭を駐車場として開放するとメールで配信したものの、当日は予想以上の積雪のため、急きょ開放中止のメールを流すなど、あわただしい対応となってしまい、ご迷惑をおかけしました。足元が悪い中、参加してくださいましてありがとうございました。

全体会で私から、3つの感謝について話させていただきました。1つめは、「**保護者の皆様の本校教育活動に対するご協力への感謝**」です。コロナ禍で自粛していた様々な教育活動が、いろいろな見直しを受けながら実施された一年でしたが、どの行事にも好意的に協力して下さる保護者の皆様のおかげで、子どもたちも楽しく参加できて、思い出に残るような活動にすることができました。行事は学校と家庭が協力してこそ、より教育的効果の高い教育活動ができるのだと痛感しました。

2つめは、「**P T A 専門委員会の活動に感謝**」です。委員長さんを中心に、これまでの経緯を踏まえながら、新しい工夫を盛り込んで、「もっとこうなったら良くなるのでは」という前向きな思いで取り組んでいただきました。全国的には停滞気味のP T A活動が、赤保内小学校では活発になっていきそうで、ますます積極的に参加して下さる方が増えていくと感じています。「子どもたちのためのP T A活動」へのご協力をこれからもよろしくお願いいたします。

3つめは「**児童後援会の支援に感謝**」です。今年度だけで60万円近くのご支援をいただき、繰越金等を合わせると100万円に近い額を様々な活動の補助費として使わせていただきました。実際に会費を出して下さったご家庭はもちろん、大変な苦勞をしながら集金活動をして下さった担当の皆様にも心より感謝申し上げます。

学校は勤務している職員だけでは成り立ちません。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援とご協力があるからこそ、教育効果の高い活動を行うことができます。支えていただいている心強さを感じられると、子どもたちへの様々な働きかけがしやすくなります。どうぞ、これからも温かい心で学校を支えてくださいますようお願いいたします。



P T A 専門委員会組織会の様子

## 人を元気にさせる「気遣いの言葉」「感謝を伝える言葉」

これも、全体会の中で話しましたが、こんなにも素直な赤保内小学校の子どもたちの良さを伝えずにはいられないので、もう一度紹介させていただきます。

全校朝会の私の講話の中で、「人にやってもらっていることを当たり前だと思わず、ちょっとだけいいので感謝の言葉を伝えましょう。」と話しました。例えば朝、玄関や廊下の掃除をやってくれている6年生、花壇で草取りをしてくれている美化委員などに対して、一言「ありがとうございます」と言ってくれるととてもうれしいものなのだということを紹介しました。すると、最近、学校の敷地外で雪かきをしている私にも、「校長先生、雪かきしてくれてありがとうございます」と言ってくれる子がたくさん増えました。だれかの真似をするのではなく、たった一人で通りかかって、わざわざ足を止めて私に言葉をかけてくれます。ちょっと腕と腰に疲れを感じていても、その言葉で俄然元気が出てきます。わざわざ言葉をかけることはとても勇気のいることだと思いますが、素直な心でその勇気を出してくれる子どもたちの良さを大切に育てていきたいと思いました。きっと、家族の方々や地域の人たちにもそういうことが言えるようになっていくと思います。そういう場面があったら、ぜひ、おうちの方からも褒めていただくとありがたいです。

## 子どものうちに体験することの重要性

大谷翔平選手から送っていただいたグローブは、6年生から順に各学級で1週間くらいずつ使用できるようにしたので、やっと全部の学級が使用する体験を終えました。中には、グローブを一度も使ったことがない児童もいましたので、初めての体験という意味でも子どもたちにとっては興味深いものだったと思います。私は野球部に所属していたので、グローブは持っていましたが、チームとして試合等をする以外に、ただキャッチボールをしたり、2～3人でティーバッティングのようなものをしたりする時間がたくさんありました。すぐ肩が痛くなりますが、今でもキャッチボールは大好きです。

また、3～6年生は1月にスケート教室を実施しました。スケート場は八戸市や南部町にあります。初めてスケートをするという児童も少なくありませんでした。氷の上に細いブレードのついた靴で立って、バランスを取りながら滑るという動作はスケートならではのものです。最初は慣れないために苦勞する子もいましたが、短時間でめきめき上達する子もいました。やはり、初めてやることにでも柔軟に適應できる力は小学生の頃が一番伸びやすいと感じました。

すぐに上達しなくてもいいので、さまざまな体験をさせてみることは、あとあといろいろなことにつながってきます。身長が伸びればできるようになること、筋力が付けばスピードが変わってくること、集中力が高まってくれば工夫するようになることなど、子どもたちには伸びる要素がたくさんあります。まずは体験することを大切に考え、うまくいかなくても楽しくできるように大人が見守ってあげたり、相手をしてあげたりすることが、何事にも挑戦してみようという気持ちを高められる気がします。



フラット八戸でのスケート教室

## 新年度への準備が着々と進んでいます

今日から3月に入り、卒業式までに6年生が登校してくる日は9日、1～5年生も16日ほどとなりました。6年生から5年生へと引き継がれることも着々と進んでいます。来年度の委員会が組織され、清掃班も新しくなりました。本校の伝統芸能である駒踊りも、リーダーが5年生となって6年生がお手伝いする形で何度か練習を行いました。

これが配布される頃には、6年生を送る会も5年生が中心となって実施されていると思いますが、下の学年のリーダーとして最初に自覚を促される行事です。きっと、来年度リーダーとなって全校を引っ張っていく心構えが大いに刺激されたことでしょう。

CRT 学力検査の結果も届き、各学年とも1年間の学習のまとめに入っていますが、進学・進級する心の準備もそれぞれ進めています。



あいさつ運動(2年生)

## 能登半島地震への募金活動

休み明け集会の時に、正月に起こった能登半島地震の被害について話題にしました。今も避難生活を強いられている人がたくさんいるという現状に何かできることはないか考えたいという内容の話をしました。すると、すぐに**運営委員会**が自主的に話し合いをもって**募金活動**をやりたいとの意向を私に伝えに来ました。忙しい中、朝や昼休みなどを使って募金を呼び掛け、**33,267円**の募金が集まり、27日に石川県に送られました。子どもたちが被災者の気持ちを考え、主体的に活動してくれたことがとてもうれしかったです。

## 車の安全な送迎にご協力を！

前号でも安全な登下校についてお願いをしましたが、大雪でいつもと違う状況になったとき、車での送迎でも安全に気を付けたい場面がありました。除雪が行き届かないときも当然ありますので、児童を降車させる場所の安全確認と、降車後の安全な歩行の仕方(急に走りだしたり飛び出したりしない)を確認していただきたいと思います。また、雪で大変狭くなっていますので、**校地内の駐車場や正門付近への駐停車は行わない**ようお願いいたします。痛ましい交通事故を防ぐためですので、ご理解とご協力をお願いします。